

2015年9月1日

**姫路市民の自助・共助活動を支援し、気象災害の軽減を目指す官民共同プロジェクト  
ウェザーニュースと姫路市と市民で取り組む“ひめじ減災プロジェクト”スタート  
～インターネットサイトと携帯サイトで、姫路市の災害情報をみんなで共有～**

株式会社ウェザーニュース（本社：千葉市美浜区、代表取締役社長：草開千仁）は、姫路市（市長：石見利勝）と共同で、個人や地域のコミュニティーでの減災意識を高め、気象による被害を少しでも軽減するため、姫路市民の自助・共助活動を支援する“ひめじ減災プロジェクト”を本日より開始しました。“ひめじ減災プロジェクト”は、気象災害に伴い姫路市内で発生した浸水などの被害の状況を市民から報告していただき、インターネットサイトにリアルタイムに反映することで、市民一人ひとりの被害を軽減する活動や防災活動に役立てていく参加型のプロジェクトです。サイトは、インターネットサイト、携帯サイトともに無料でご利用でき、姫路市が提供するハザードマップや、姫路市民からウェザーニュースに寄せられる被害状況がご覧いただけるため、危険なエリアや災害の発生場所を一目で確認できます。また、荒天が予想される場合や被害が発生した際に、ウェザーニュースがいち早くお知らせする“ひめじ減災メール”もご利用いただけます。姫路市は、夏は集中豪雨や台風、冬は雪に注意が必要な地域ですので、事前にご登録いただき、身を守る一つの方法としてお役立てください。

“減災プロジェクト”の取り組みは千葉市からはじまり、今回で16例目(6府県10市)となりました。ウェザーニュースでは、市民自らが参加して地域のきめ細かい情報を共有し合えるよう、姫路市や市民と共に“ひめじ減災プロジェクト”に取り組んでいきます。

“ひめじ減災プロジェクト”の利用、閲覧はこちら（無料）	
インターネットサイト <a href="http://weathernews.jp/gensai_himeji/">http://weathernews.jp/gensai_himeji/</a>	携帯サイト <a href="http://wni.jp/?himeji">http://wni.jp/?himeji</a>

## ◆姫路市民と共に取り組む“ひめじ減災プロジェクト”

“減災プロジェクト”の取り組みは千葉市(2011年2月2日)からはじまり、名古屋市、神奈川県、大阪府、習志野市、京都市、香川県、鈴鹿市、埼玉県、福井市、京田辺市、船橋市、京都府、滋賀県、郡山市と続き、今回で16例目(6府県10市)となりました。

“ひめじ減災プロジェクト”では、大雨や雪などあらゆる気象災害に伴う被害状況の報告を募集しています。「自宅付近



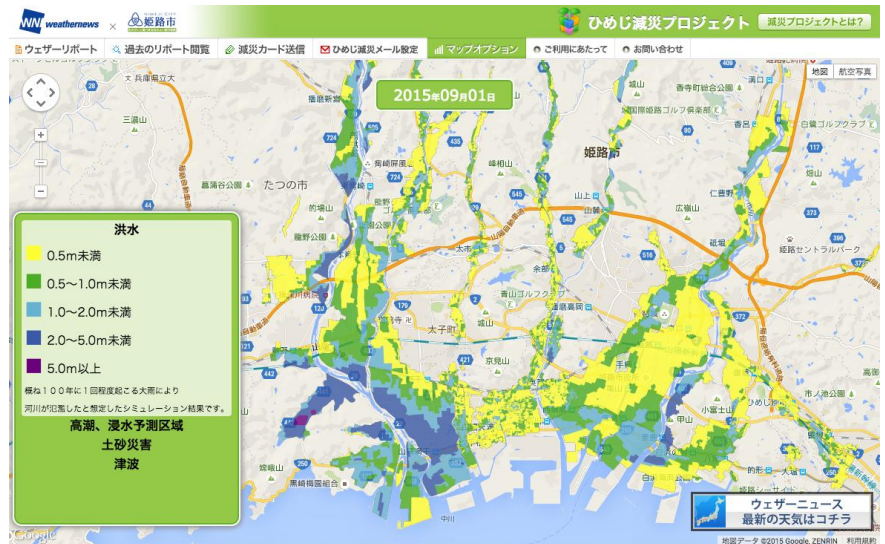
※“ひめじ減災プロジェクト”インターネットサイトのイメージ図

の道路が冠水しています」など、気象が原因で起きた災害を“減災レポート”としてインターネットサイトや携帯サイト、スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」から送ることができます。これらの情報は、貴重な被害データとして蓄積され、発生時の気象条件とともに“ひめじ減災プロジェクト”のマップ内で公開されます。より多くの市民が参加するほど、発生した災害情報が詳細にわかるようになります。また、今回新たに市民との情報共有の強化を目指し、防災関係機関から発信された“減災レポート”が一目でわかるように改良しました。

### ◆洪水や土砂災害の想定エリアがわかる“マップオプション”

“ひめじ減災プロジェクト”では、被害状況を報告した“減災カード”をカテゴリー別に分類してマップ上に表示し被害報告が送られてきた位置を一目で確認することができます。

また、“ひめじ減災プロジェクト”の“マップオプション”では、洪水、高潮・浸水予測区域、土砂災害、津波を想定したハザードマップを公開しました。姫路市内の避難所の情報や“減災レポート”をハザードマップと重ねて確認することもできるので、避難を検討する際は事前にご覧いただきお役立てください。



※ “ひめじ減災プロジェクト”インターネットサイトのイメージ図  
自治体が提供する洪水などを想定したハザードマップ

### ◆災害をみんなに伝える“減災レポート”

姫路市民が自ら参加し、災害の状況をリアルタイムに伝えることができる機能として“減災レポート”があります。“減災レポート”は、インターネットサイト、携帯電話やスマートフォンから誰でも無料で送信可能です。インターネット利用者はサイト内の“減災カード送信”から、スマートフォン利用者はスマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」内の「減災 Ch.」から送ることができます。

インターネットサイトや携帯サイトから投稿された報告は、ウェザーニューズの予報センターによって“道路冠水”や“強風被害”、“河川増水・氾濫”など全 19 種類のカテゴリーに分類されます（スマートフォンの場合は、送信時にカテゴリーから選択していただきます）。過去の“減災カード”を事前に見ておくことで、大雨や台風のときに“河川増水・氾濫”が発生しやすいアンダーパスなどの危険なエリアを把握することができます。



※ スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」  
減災レポート送信画面

## ◆「ウェザーリポート」の災害情報も掲載

ウェザーニューズでは、自宅から見える空の様子や体感などを、コメントや写真・動画と合わせて報告し、全国の人と共有する「ウェザーリポート」という参加型のコミュニティーを2005年より展開しています。姫路市の利用者からもこれまでにたくさんの報告をいただいています。2015年7月16日、大型で強い勢力の台風11号が近畿に接近した際に河川の増水や鉄道の運転見合わせなどの報告が寄せられました。また、2014年8月10日、強い勢力の台風11号が姫路市付近に再上陸した際、姫路市には大雨・洪水・暴風・波浪・高潮・土砂災害警戒情報が発表され、市民から報告が多数届きました。



姫路市の過去の災害に関する「ウェザーリポート」は、インターネットサイト「ひめじ減災プロジェクト」の「過去のレポート閲覧」からご覧いただけます。

## ◆自分の地域専用の減災情報が入手できる「ひめじ減災メール」

「ひめじ減災メール」（無料）は、気象災害が発生する可能性がある場合や被害が発生した場合に、予め登録されたメールアドレス（携帯メール、PCメール両方可）へ、ウェザーニューズからメールを送信するサービスです。エリア設定は、過去の気象災害の発生状況を加味して分類した3つのエリア（※）から1つを選択することができます。外出先で自宅周辺の様子がわからないときや、家族にすぐに注意喚起を行いたいときなどに「ひめじ減災メール」が役立ちます。

※ひめじ減災メール登録地点

- ①南部（旧姫路市）
- ②北部（旧夢前町、旧香寺町、旧安富町）
- ③家島



※「ひめじ減災メール」イメージ